

# 徳島県の輸出の取組

徳島県 農林水産部  
とくしまブランド推進課  
輸出推進担当

主任 大久保 淳志

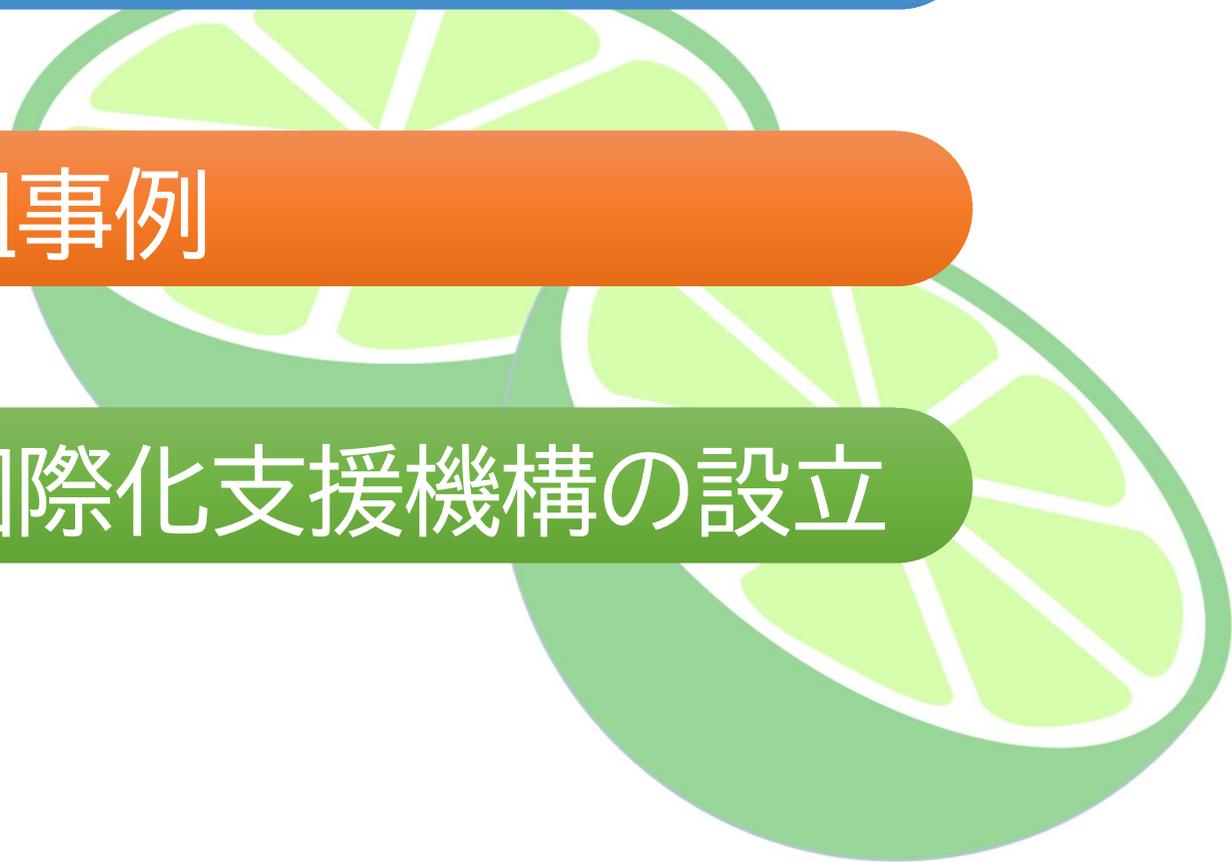


# 徳島県の輸出の取組

1 戦略的な輸出の推進

2 EUでの取組事例

3 徳島県産業国際化支援機構の設立



# 徳島県の輸出の取組

1 戦略的な輸出の推進

2 EUでの取組事例

3 徳島県産業国際化支援機構の設立



# 戦略：輸出品目の重点化

## 1 重点輸出品目

本県からの輸入実績や現地消費者の嗜好に合う等、需要拡大の可能性が高く重点的に販路拡大を行う品目を「重点輸出品目」とし、更に重要な品目を「最重点輸出品目」とする

## 2 トライアル品目

各国・地域において参入可能性を調査し、製品の紹介、食べ方提案等のプロモーションを行い、新たな市場開拓に挑戦する品目を「トライアル品目」とする

# 戦略：輸出国・地域の重点化

## 3 重点輸出市場

### アジア市場（香港、台湾、シンガポール、タイ、ベトナム）

経済成長が著しく800兆円を占める巨大市場になることが見込まれている。日本から近距離にあり、日本食・文化の認知度が高いことから、今後も輸出の中心になる市場。

### ヨーロッパ市場（フランス・パリを中心としたEU諸国）

「世界の食」のトレンドを生み出す市場で、日本の新たな食材に対する関心も高い。所得が高い国々を有し、高価格帯の商品が売れる市場として、高い可能性を有している。

### ハラール市場（マレーシア、インドネシア、ドバイなどのハラール諸国）

全世界人口の4分の1を占める巨大市場である。東南アジアを中心に、世界に広く分布していることから、ハラール認証を取得することにより、販路開拓の可能性がある。

# 輸出品目・輸出国・地域の重点化

## 最重点輸出品目

### アジア市場

なると金時、コメ、牛肉、阿波尾鶏、  
水産物

### ヨーロッパ市場

ゆず、すだち、ゆこう、果実加工品、  
日本酒

### ハラール市場

牛肉などハラール認証商品

### その他の市場

果実加工品、日本酒、花き



# 本県農林水産物等の輸出の状況

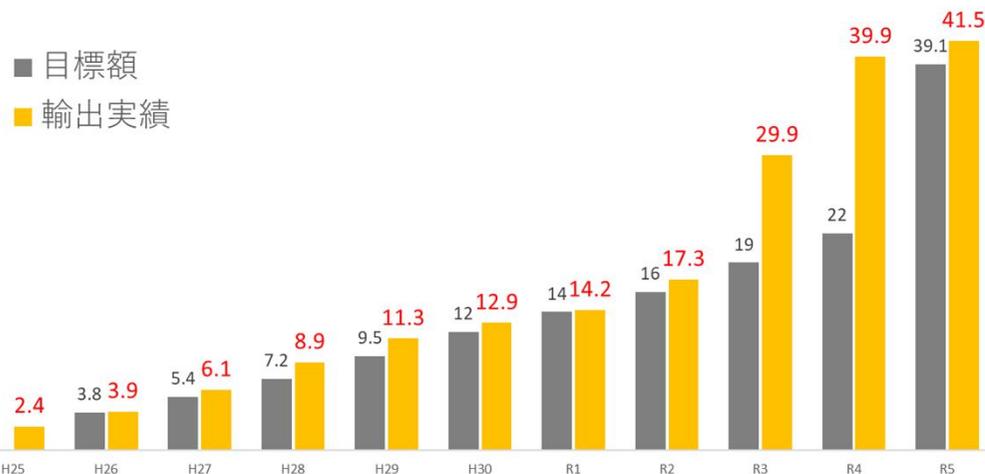
## 東・東南アジア



## 欧米



農林水産物・食品の輸出金額（億円）



### ◆ アジア

なると金時：香港、台湾、シンガポール等  
 コメ：香港、シンガポール  
 水産物：タイ、台湾、中国等  
**かんきつ加工品：タイ、中国等**

### ◆ ヨーロッパ

**ゆず・すだち青果：フランス、ドイツ等**  
**かんきつ加工品：フランス、ドイツ等**  
 日本酒：スペイン、フランス等

### ◆ ハラル市場

牛肉：マレーシア、インドネシア

### ◆ その他

日本酒：アメリカ、オーストラリア等  
 花き：アメリカ、オーストラリア等

# 徳島県の輸出の取組

1 戦略的な輸出の推進

2 EUでの取組事例

3 徳島県産業国際化支援機構の設立



# EUでの取組事例① 「ハイブリッド戦略」

## 青果

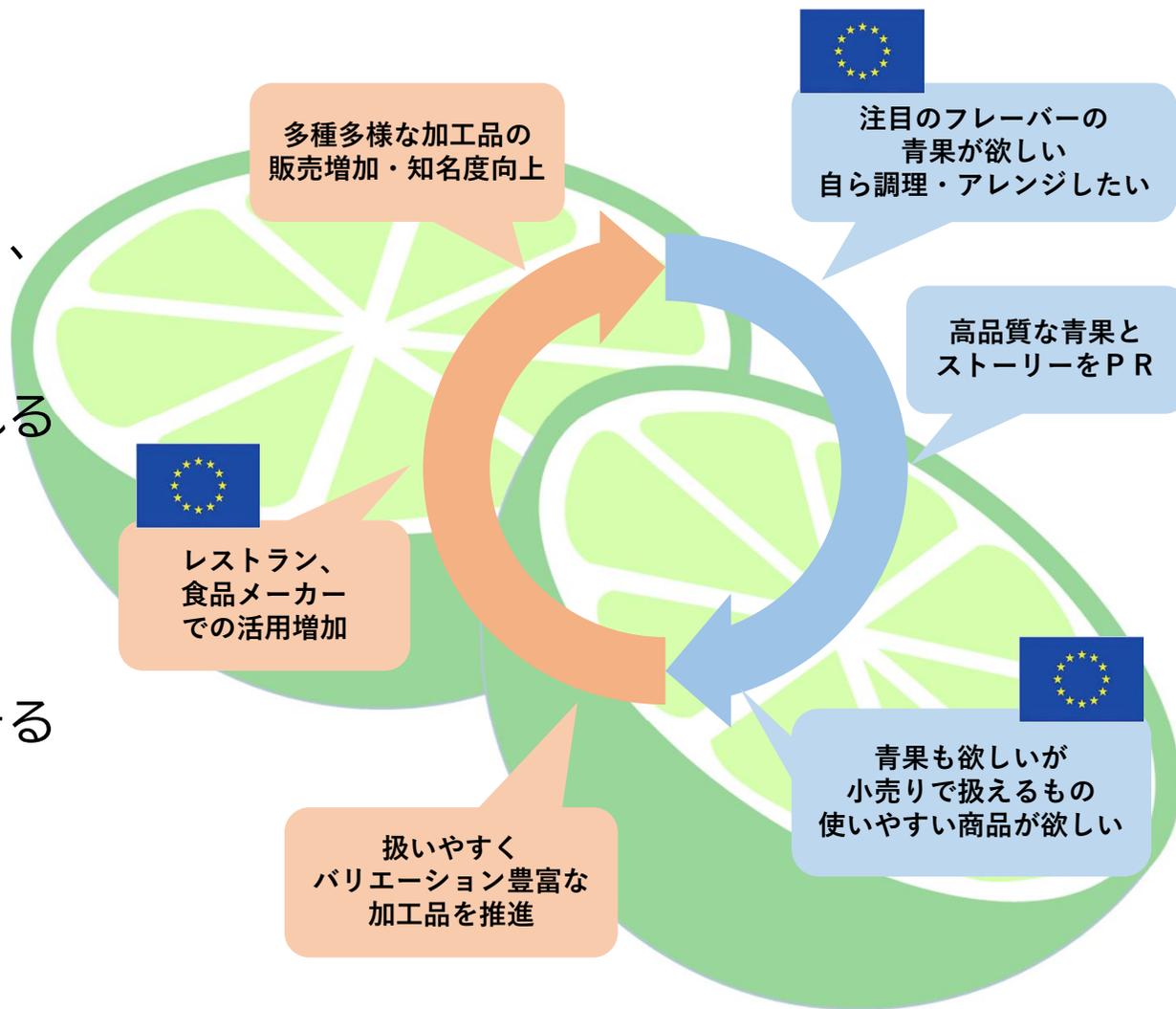


- 植物検疫、賞味期限など制約が多く、大量に輸出するには手間がかかる
- レストランなどに需要がある
- 手触り、見た目などの情報が得られる

## 加工品



- 比較的輸出がしやすい
- 冷凍品は船舶により安価に輸送できる
- 風味が青果と異なる場合がある
- ストーリーが伝わりにくい



## EUでの取組事例② 「トップシェフの囲い込み」



### 「食材提案会」

- ・ ミシュラン星付きレストランシェフ
- ・ 現地バイヤー
- ・ 県内生産者

を集め、  
シェフによる徳島県食材を使った料理を食べながら意見交換

シェフからシェフへの使い方提案

生産者による直接PR

バイヤー同席によるダイレクトな商流確立

トップシェフ関連へのPR



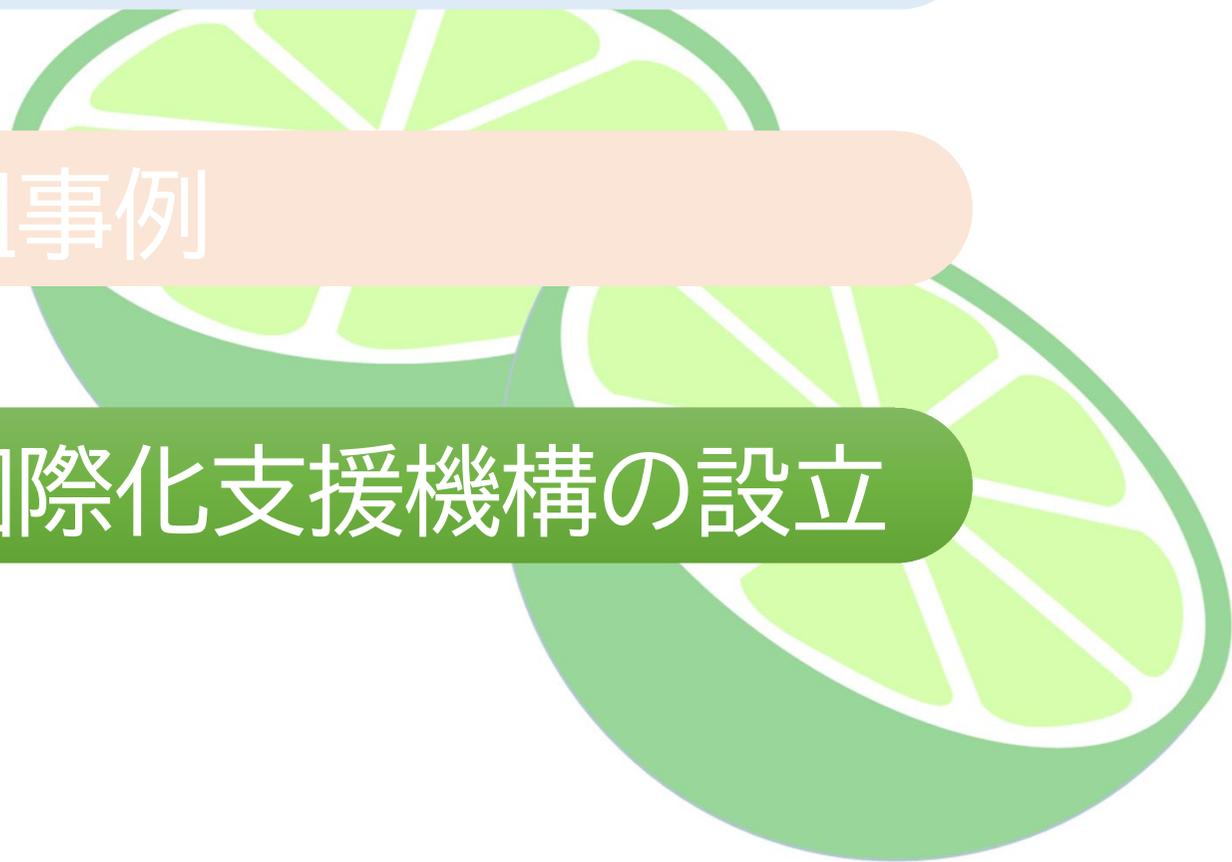
パリ「茶懐石 秋吉」にて2024年実施

# 徳島県の輸出の取組

1 戦略的な輸出の推進

2 EUでの取組事例

3 徳島県産業国際化支援機構の設立



# 「(公社) 徳島県産業国際化支援機構」とは

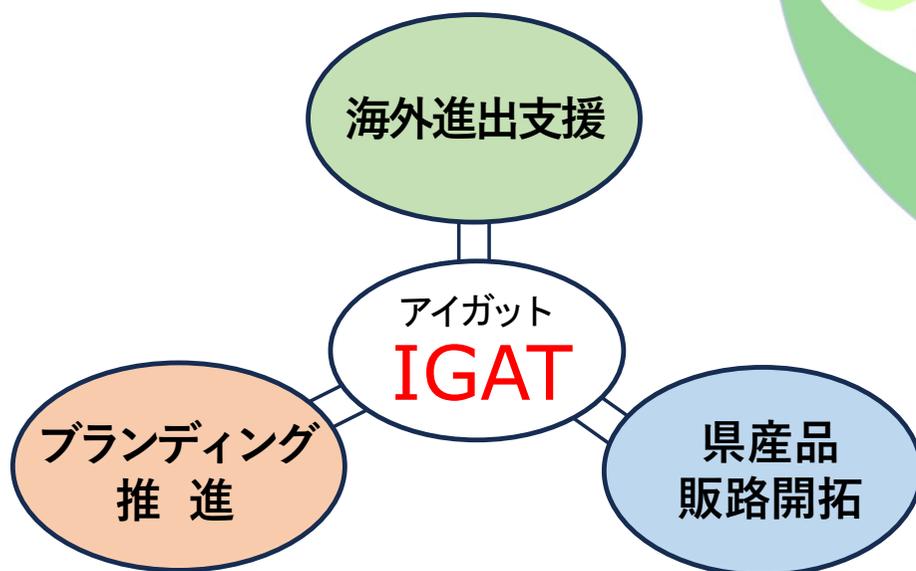
Industrial Globalization Association of Tokushima

県産品の国内外への販路開拓

県産品を含む徳島県のブランディング推進

県内企業の海外進出支援

を目的とした公益社団法人



R6年12月16日 開所式